

NPO法人 日本都市農村交流ネットワーク協会
創立15周年記念シンポジウム
— 出版物発刊トークイベントを兼ねて —

共感の農村ツーリズム

— 人の流動・経済循環を創りたい —

開催日時：2022年12月17日(土)12:30受付 13:00~17:10

開催場所：龍谷大学深草キャンパス 和顔館B201

京都市伏見区深草塚本町67

京阪本線「龍谷大前深草」駅下車、西へ徒歩約3分

京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩約10分

主催：NPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会

後援：農林水産省近畿農政局、京都府農林水産部

13:00~

オープニング

大村音楽研究所むらさき会会員

15周年を祝って「ふるさと・愛・平和」を歌う!

NPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会の活動を振り返って
河村律子理事長

14:00~

15周年記念シンポジウム

「共感の農村ツーリズム—人の流動・経済循環を創りたい—」

基調講演：講師 井上弘司「結んで開いて元気な農村づくり!」

パネルディスカッション

コーディネーター：中村貴子

パネラー：鹿取悦子

児玉芳典

伴 亜紀

森下裕之

コメンテーター：井上弘司



参加費 一般 1,000円、学生 500円

お問合せ・申込方法 jimukyoku@gtnet.sakura.ne.jp、QRコードまたはFAX 075-703-5624

にて申込み下さい。お名前とE-mailまたはTELを記入して下さい。

当日は、書籍を特別価格で販売します!



基調講演

講師：井上 弘司 (いのうえ ひろし)

CRC合同会社（地域再生診療所・長野県飯田市）代表。内閣府地域活性化伝道師、国交省観光カリスマ百選、総務省地域力創造アドバイザー、ふるさと財団アドバイザー。

全国各地で観光ツーリズム、地域づくり、農山漁村コミュニティビジネス人材育成など、アドバイスを行う。

【著書】「食農教育で農都両棲の地域づくり」(農文協)「ドンダリの森小学校物語」(講談社) など



パネルディスカッション

コーディネーター：中村 貴子 (なかむら たかこ)

京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授。専門は農業経営学。京都府や個人有志と共に、当NPO法人理事として参画し、京都府庁でのマルシェを10年以上運営してきた。

【著書】共著『地域活性化のデザインとマネジメント』(晃洋書房) など。



パネラー：

鹿取 悦子 (かとり えつこ)

ルラル・カトリーヌ代表、フリーランス地域資源開発業。京都大学大学院農学研究科 森林科学専攻 森林経営学研究室修士課程修了。6年ほど島根大学農学部の助教を務めたのちに退職し、京都府南丹市美山町に移住。田んぼ・畑・狩猟・山&川ガイド、食品加工など農山村の地域資源を活かす仕事をおこなう。最近シカ害で衰退する森林の再生に取り組み始めた。



児玉 芳典 (こだま よしのり)

有限会社柑香園代表取締役社長。神戸大学農学部卒業後、和歌山県庁で7年間勤務の後、家業である有限会社柑香園に入社。両親と3名で約4haのみかん栽培中心の果樹専業農家だったが、加工や通販、フルーツパーラーなどに取組み、現在は約13haの果樹園と国内10店舗のフルーツパーラーを運営。新規就農対策にも取組み、10名以上の研修生が独立。



伴 亜紀 (ばん あき)

Graine代表、大阪総合保育大学非常勤講師、管理栄養士。民間病院で勤務後、京都府宇治田原町役場で学校給食・保育所給食・食農団体担当者として町民の食に関わる。退職後、食と農のコンシェルジュとして地元産の農産物を使った商品開発・子どもの使いやすい食具の開発販売・保育所・子育て支援などでの食のアドバイスや研修等行う。

【著書】共著「子どもの食と栄養」青踏社など



森下 裕之 (もりした ひろゆき)

株式会社田園紳士代表取締役。京都府立大学大学院生命環境科学研究科単位取得退学。農学博士（専門は都市農村交流）。博士取得後、農林水産省「田舎で働き隊」として、京都府京丹後市に移住。任期終了後、事業継続のために起業する。農産物流通、農産加工品開発、イベント企画・運営などを行う。2022年7月からは東京で全国地域の農産物や加工品を販売するショップ兼カフェの運営も開始。

